

# 愛校心

## 自信と誇り

## 校区愛

～地域とともにある学校づくり～

コミュニティ・スクールは、学校・保護者・地域が  
一緒になって子ども達の成長を支え、同時に  
地域の未来の担い手を育てていく活動です。



皇子山中学校コミュニティ・スクール通信  
第3号 令和4年5月発行



令和4年度がスタートし、はや2ヶ月が経ちます。皇子山中学校は、コミュニティ・スクールとなり今年度で8年目を迎えます。学校運営協議会では、地域と学校がともに考え、どのような生徒を育てたいか意見を出し合っています。コロナ禍ではありますが、ボランティア活動やキャリア教育など、中学生が活躍できる場を模索しています。生徒はもちろん、地域を元気づけられる取り組みを推進していきますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

### 令和4年度 第1回学校運営協議会(4月27日)

- \* 大津市教育委員会より学校運営協議会委員の委嘱  
地域学校協働活動推進員の委嘱
- \* 委員長、副委員長の決定  
(会長:清水 耕二 様、副会長:佐敷 靖夫 様)



※委嘱状交付の様子

#### ◇協議事項

- ・ R3総括および学校行事について
- ・ 学校教育目標の承認
- ・ 学校予算の承認

#### 【年間の学校行事計画等】

- ・ 令和4年度の行事予定
- ・ 令和3年度の学校評価の紹介

#### 【教育環境整備の重点】

- ・ 学級、生徒会、特別活動の充実
- ・ 伝え合う力を育成するための予算
- ・ 働き方改革へむけた整備

#### 【地域とともにある学校づくりの推進】

- ・ 「やっぱり皇中が好き」といえる生徒
- ・ 「皇中生」としての誇りを持てる生徒
- ・ 「皇中校区が好き」といえる次代を担う生徒

#### ◇熟議

テーマ ～コロナ禍でもできる地域活動への参加について～

※今回は、4つのグループに分かれて話し合いを行いました。主な内容を紹介します。

- ボランティアに参加した生徒の感想を見ていると主催者側の意図や行動をよく理解し考えてくれているのがわかる。子どもの柔軟な発想を取り入れ、企画段階から関わってもらい達成感をもてる活動にしたい。
- ボランティアに参加することで社会性を身につけられる。教科等の学力をつけることと同等またはそれ以上の価値がある。
- 藤尾学区では、マルシェ・子ども学習広場・ウォークラリーなど多くの活動に参加してくれて楽しそうにしていた。その反面、コロナの感染不安で大人数で集まっている場に行きづらいという意見もある。
- 皇中は、全体的に落ち着いた学校なので、さらに上のステップに進める時期にきているのではないかと。昨年のフォトブックなどが良い例で、子ども達に企画から考えさせてチャレンジさせる取り組みが重要になってくる。